



こうふ町 議会だより

町 勢

世帯数／1,172世帯
人 口／3,806人
(平成18年4月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



(俣野小学校入学式)

「ピカピカの一年生」 元気一番！

きびしくても元気で明るいまちづくりに (平成18年度予算) ……	2 P
予算の審議 ……	6 P
いっぱん質問 町政を問う ……	12 P
介護老人保健施設・庁舎建設調査特別委員会 ……	16 P
私もひと言 ……	18 P

きびしくても元気で 明るいまちづくり

平成18年1月末現在 1世帯あたり480万円 町民1人あたり146万円の予算

平成18年度予算

一般会計14%減

34億3800万円

平成18年度3月定例議会は3月9日から24日まで16日間の日程で開催されました。

本年度の一般会計、特別会計の予算をはじめ、条例の制定・改正等54議案が上程され、慎重審議の結果原案どおり可決しました。

一般質問に3名の議員が立ち、各議員が活発な議論を展開しました。

平成18年度も、昨年に引き続き厳しい予算です。

施策の基本は「行財政改革の推進」「子育て学習環境対策」「住民に身近な行政推進」で皆さんの積極的な町づくりへの参加が求められている。

本年度は介護老人保健施設の開所を始め、いよいよ企業誘致のサントリーに関連する造成及び農道の付け替え工事も予定されており、平成18年度一般会計予算は総額34億3800万円となり、前年対比14・4%減となっております。企業誘致と日野病院組合への貸付金5億3012万円を差し引くと29億6800万円となります。

16の特別会計予算総額は21億8880万円で、一般会計と合わせ、56億2680万円となり前年対比10%減の引きしめ予算です。

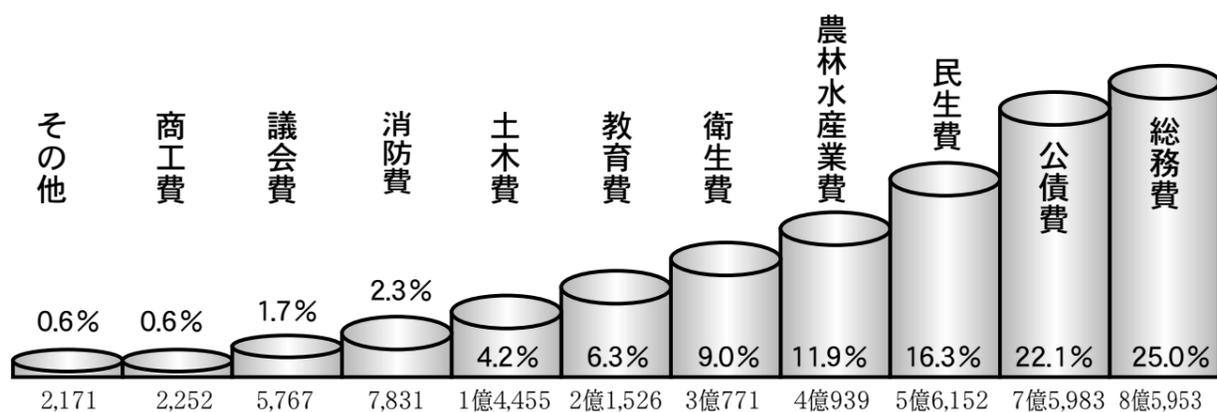
主な歳入は

◎町税	8億8579万円	前年対比93%
固定資産税	7億9923万円	(94%)
(固定資産税のうち中国電力分)	6億7926万円	(94%)
たばこ税	10億17万円	(73%)
◎地方交付税	11億円	(106%)
◎財産収入	4億6466万円	

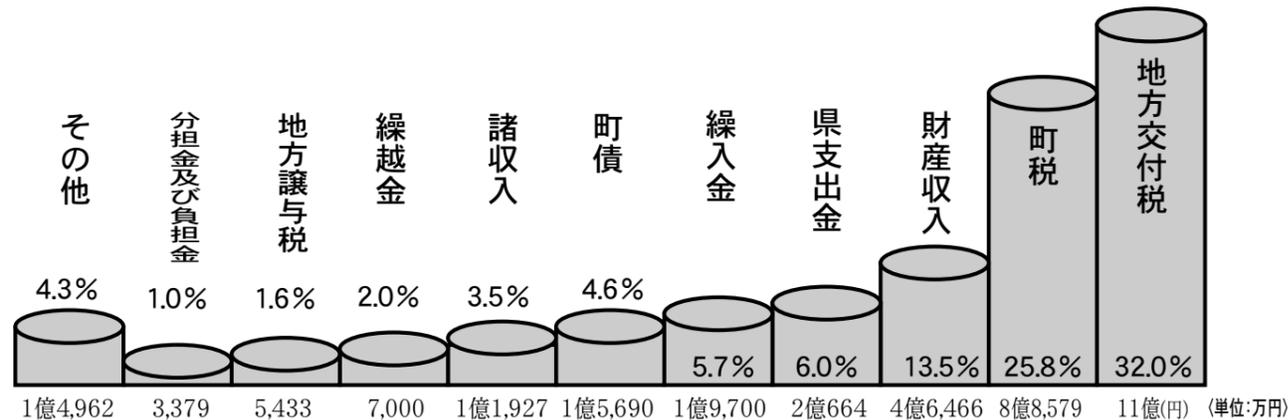
主な歳出は

◎総務費	8億5953万円
企業誘致対策費	4億7193万円
財産管理費	4億160万円
情報処理費	3億974万円
過疎バス対策費	1億391万円
◎公債費	7億5983万円
◎民生費	5億6152万円
老人福祉費	1億2320万円
介護老人保健施設費	7億000万円
◎農林水産業費	4億939万円
農業委員会費	1億627万円
農業振興費	1億1万円
◎衛生費	3億771万円
塵芥処理費	1億4634万円
◎教育費	2億1526万円
学校管理費	2億534万円
公民館費	2億228万円
◎土木費	1億4455万円
道路維持費(うち除雪委託料)	2億000万円

歳出



歳入



特別会計 (16会計)

総額 218,880万円

前年 (222,582万円)

3,702万円の減額予算

国民健康保険 (事業勘定)

3年連続国の指定

総額3億3000万円
 前年度対比3000万円の減額予算です。
 一般会計から2200万円を繰り入れ対応します。

となります。
 江府町は3年連続指定となり、地域差指数1.17を超えた額が国庫負担金から減額されます。高齢化の進む我が町です。健康福祉センターを健康管理が急務です。



検診・予防が大切

介護老人保健施設 特別会計

待望の施設開設

約10億円を投資した介護老人保健施設が、6月に開設いたします。入所者は介護認定者の障害者であり心のケアが大切です。当初は赤字決算が予想されるが、日野病院と十分連携をし、安定した経営、質的なサービスに努力していただきたい。

農業集落排水事業

現在6施設、15集落が終了です。昨年引き続き吉原集落が施工されます。今年の測量設計は宮市、宮市原で、調査設計は美用、小原の予定です。

簡易水道事業

笠原地区の水道水の安定供給のため、施設の改修が行われます。施工後は1日10000Lの水が使用可能で約300人位使用出来ます。笠原の台地に進出するサントリーと協議して経費軽減になるように努力してほしい。

特別会計

(単位 千円)

会計区分	18年度予算	左の内一般会計からの繰入額
西部情報公開・個人情報保護審査会	451	
住宅新築資金等貸付事業	4,100	261
国民健康保険事業（事業勘定）	330,847	22,000
国民健康保険事業（施設勘定）	287,657	16,424
老人保健	680,146	53,059
介護保険事業（保険事業勘定）	408,313	63,794
介護保険事業（サービス事業勘定）	2,042	
介護老人保健施設 ※借入金の返済	16,113	
笠原市民農園	1,344	1,043
簡易水道事業	166,358	56,294
農業集落排水事業	215,500	62,698
林業集落排水事業	5,581	4,728
特定環境公共下水道事業	61,496	18,094
江尾財産区	4,000	
神奈川財産区	2,353	
米沢財産区	2,500	
合計	2,188,801	298,395

江尾診療所の診療件数の推移

医 科		
年度	年間診療件数	1日平均の患者数
	(件)	(人)
12	12,893	53.1
13	15,282	63.1
14	13,909	58.3
15	15,099	59.9
16	15,452	61.7
17	13,809	65.4

歯 科		
年度	年間診療件数	1日平均の患者数
	(件)	(人)
14	2,042	32.9
15	6,593	30.5
16	6,877	30.4
17	6,346	33.8

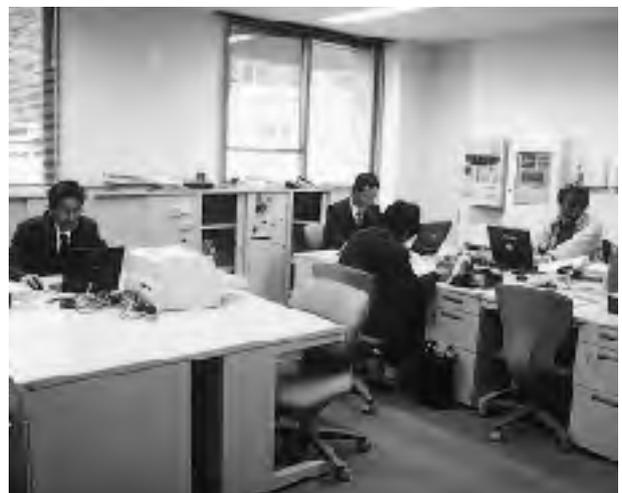
※平成17年は平成18年1月までの数値の集計

新規特別会計 介護保険事業（サービス事業勘定）



地域包括支援センタースタッフの皆さん(福祉保健課内)

新規特別会計 介護老人保健施設



一人一人を大切に（あやめスタッフ）

予算の審議

一般会計

会期中3月13日・14日に予算特別委員会を開催し、審議したので、主なものをおあげしてみました。

人件費について

人件費の削減効果は。

A 町長15%、助役、教育長10%、一般職5%をそれぞれカットとする。

3000万円の削減効果となる。

Q 職員は今まで本給のみか。

A 平成18年度は職員も手当てを含むものである。

平成18年度から給料の制度が変わり新制度を導入する。

Q 新しい給与制度は。

A 改正後は現在8級制が6級になる。

1級に主事、主事補、2級は主任、3級は係長相当職、4級は係長補佐相当職、5級は課長相当職、6級は統括課長と5年以上の課長という考え方で

ある。わたりは廃止する。ただし、5年間は現給を保障する。

町報で詳しく説明する。

Q 残業手当の額は。

A 予算の枠の中で仕事をを行う。

Q 退職勧奨は。

A 平成17年7月1日付で50歳以上、25年以上勤務の管理職全員に勧奨した。他町は60歳でやめられるが、本町は58歳が基準である。

Q 職員の採用は。

A 大体3人退職して1人採用する。今年度は2人の採用を予定している。(保健師、保育士各1名。)

電算システムの費用は

情報処理の委託料等どうなっているのか。

A 一括管理が出来るようにしており、5年間で1千万円減っていく。

江尾駅の業務は

駅舎業務はどうなるのか。

A 財政的に厳しく、商工会に協力を願った。平日のみの業務となるが定期券等の発行もいたします。

過疎バスの対策は

効率的なバス運行を検討しては。

A 各集落の乗車状況を確認し、代替えタクシー、小型バス等も検討する。今後、小学校統合もあり町営バスも検討。

まちづくり推進委員会は

まちづくり推進委員会は。

A 行政の追認機関になってはいけな。町民の皆さんが、日頃どのように考えておられるのか聞くにはよい場である。

小口融資は

小口融資の1千万円は少なくないか。

A 17年度から銀行に直に預託するようになっており、枠は充分ある。

江府町の観光は

十七夜の賛助金は。

A 本年度も、当町関係者から寄付をお願いしたい。関西交流会のやり方について研究を。人数は少なくなつたが、内容の濃い

納税組合報奨金は

納税組合報奨金は。

A 納税組合報奨金は、振替と納税組合を通しての割合は半々程度。平成18年度から奨励金は納付額の2%と1世帯当たり2000円です。

町農業開発公社は

農業公社の今後の運営は。

A 昨年まで2名体制であったが、1名の職員体制となる。行政と公社の連携をとるため、役員職員で無報酬の理事を置き、事務局長的立場でフォローする。

農業委員会について

畦畔の省力化の導入は。

厳しい除雪は

除雪見直しの成果は。

A 除雪路線の見直しにより、経費節減を図つたが、17年度は大雪のため課題も残った。

図書館の充実

図書システム購入は。

A インターネットにより、県立の図書館とか将来的には隣町との接続等で広域的な検索システムを導入する。

運動公園の管理は

運動公園の管理、運営は。

A 一部は、シルバー人材に委託する。今まで管理されてきた人1名とシルバー人材の事務局に入られる人で管理されるが、サービスが低下しないようにする。

省力化のため畦畔

に芝を植栽する事業である。単県の補助対象になっており、材料費の2分の1が補助される。申し込みされた方は全員対象となる。

チャレンジプランは

チャレンジプランの支援事業補助金は。

A 費用分担は、県6分の2、町6分の1、法人6分の3負担で、県、町分の616万9千円補助金を計上。認定農業者の農業法人宮市に補助するもので豆腐の製造施設の事業。

畜産振興について

和牛優良雌牛導入支援は。

A 18年度は1頭当たり10万円で8頭分の補助金を計上している。

農道整備は

農免農道の整備予定と負担金は。

A 県営南大山区農免農道(第4工区)

地積調査は

地積調査の進捗状況は。

A 貝田地区が継続で行われ、武庫地区が新たに終わります。

元気な地域づくり交付金事業は

交付金事業の内容は。

A 杉谷地区のかんがい排水事業で2か年の事業。

総延長500メートルで本年は280メートルです。また、貝田地区の上井手改修工事の法定手続きの委託業務が計上してある。

町行造林は

町行造林の面積はいくらかあるか。

A 現在、1757畝で町行造林が552畝、公団が336畝、の内、町有地が311畝。町行造林の償還は年間どのくらいか。

介護老人保健施設について

6月開所に向けて取り組みは。

A 町内外から「利用したい」との声がかかるようにPRに職員資質向上に努める。

社会福祉協議会のあり方

社会福祉協議会の今後は。

A 1年間かけて、サービスの内容、社協としてのあり方を検討したい。

健康づくりと町づくりは

しあわせづくり推進事業費の予算が減額になっているか。

A 17年度は、元金1050万円、利子778万円で、17年度末の未償還金額は6億8452万円。

A 色々なことに使っていたら費用対効果ということになる。少ない額で効果を上げるように引き続き職員も集落に出かける。

Q 病気になるらない啓蒙活動はされるか。

A 健康講座で、糖尿病にならない方法、脳卒中にならない方法、歯の健康等、今まで町内を回っている。本年度も続けていく。

町道整備は

町道の新設改良の場所はどこか。

A 大河原で18年度終了予定です。

廃棄物の収集の入札は

一年間検討して、新年度から入札するという事があつたか。

A 入札に向けて説明会を行い、2社から申請が出ている。総合的に審査して、よければ入札する考えである。

納税組合報奨金は

納税組合報奨金は、振替と納税組合を通しての割合は半々程度。平成18年度から奨励金は納付額の2%と1世帯当たり2000円です。

町農業開発公社は

農業公社の今後の運営は。

A 昨年まで2名体制であったが、1名の職員体制となる。行政と公社の連携をとるため、役員職員で無報酬の理事を置き、事務局長的立場でフォローする。

特別会計

医療費の状況は

Q 国民健康保険法の規定に基づき、地域差指数が、1・14を超える市町村は国の指定があり、安定化計画を作成して医療費の適正化を図ることとなっているが。

A 平成16年度に69歳以下の医療費が厚生労働省の地域差指数を上回ったため、厚生労働省の指定を受け医療費削減のための取組を行った。本年度においても厚生労働省基準の地域差指数の1・14を越えて1・19となったため指定を受けた。この地域差指数は平成16年度医療費がもとになって積算されているものであり、わずかずつ医療費は減少傾向にあります。依然厳しい状況である。

今後、医療費適正化計画に基づき、厚生労働省基準の地域差指数を下回るよう総力を上げ、保健医療、福祉のスタッフがチームを組んで、健康づくりに取組みます。

診療所の状況は

Q 診療所及び歯科口腔外科の1日あたりの受診者数は。

A 江尾診療所診療件数は1日平均65・8人。歯科口腔外科は33人。前年に比べ増加しています。受診者の利便性を考慮して駐車場の整備も計画しており、今後とも町民の期待に応える立派な診療所となるよう努力します。

介護老人施設は

Q 介護老人保健施設の開設は。

A 住民より要望のあった施設が、いよいよ6月より開設します。10億円を投資した最大の事業であり、介護サービスや経営内容とも立派な施設となるよう誠心誠意努力します。

簡易水道は

Q 笠原地区の水道は。

A 水道法に基づく町管理のもとで、計画的に施設整備を実施している。笠原地区給水施設の安定供給のため、企業誘致もあり協議して進めます。

笠原市民農園は

Q 笠原市民農園の運営及び今後の対応は。

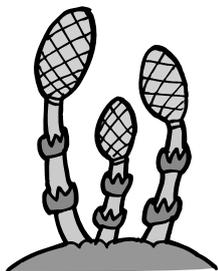
A 市民農園の運営は本年度から2ヶ年については、サントリー水工場造成工事のため休止とします。その間、基本的な在り方について検討いたします。

農業集落排水の今後は

Q 未整備地区の集落排水は。

A 下水道は、近代的な町づくりにおいて、公共用水の水質保全、住民の快適な生活環境を維持する上で重要な施設でありますと共に、後継者対策、花嫁対策、Uターン対策、過疎対策にしても不可欠となっております。

ます。今年度は吉原の工事と宮市、宮市原の測量設計、美用、小原の調査設計に入りたい。



予算特別委員会

参考意見

一般会計

平成18年度行財政方針は、国が進めている三位一体改革による大幅な国の歳出の見直しに備えて、当町においても例外でなく、一層の行財政運営の簡素化、適正化を図り特別職・一般職の人員費削減をはじめとする将来の財政健全化と、活性化を目指しての一般会計予算総額34億3800万円であり、前年対比85・6%と緊縮予算となつています。

特別な事業である企業誘致、日野病院組合貸付金を除いた平成18年度予算は29億687万円、同様に介護老人保健施設を除いた平成17年度予算は29億7555万円であり前年対比97・7%であります。平成18年1月末現在の江府町人口3832

人、世帯数1171戸で、町民1人当たり1468千円(対前年比91・5%)、1世帯当たり4805千円(対前年比90・2%)となつています。町民の負担は今後も高くなることが予想されますが、一丸となつてこの局面を乗り切らなければいけません。

一方、サントリーの企業進出、今春稼動する水工場「奥大山ファクトリー」、福祉行政の町として待望の介護老人保健施設「あやめ」も6月稼動に向けて着々と準備が進められている状況です。財政健全化のために今後とも産業振興に努められたい。又、町民の生活環境整備は、人口流失を防ぐために必要であり財政の許す限り早急に推進し

て頂きたい。

江府町の玄関であります駅舎業務は商工会にお願ひすることとなりますが、利用者の安全と町民の利便性に配慮願ひます。厳しい状況を乗り切るために、行政・議会は町民の奉仕者としてお互い情報を共有し、積極的な公開を行い、町の活性化

発展に町民上げて取り組んで頂きたい。

総務課

(1) 18年度の特別職と一般職の給料及び手当では、町長15%、助役・教育長10%、一般職5%がそれぞれカットされており、厳しい財政を乗り切る努

力と覚悟がうかがえるが、指揮の低下を招かないよう努力されたい。
(2) 職員の間ドックについて可能な限り日野病院を利用されたい。
(3) 防災基地の非常食備蓄のあり方を検討されたい。



商工会がキップを売ります

一般会計

- 企画財政課**
- (1) 町施設の指定管理者制度を進める一方、町有地の有効活用を積極的に取り組まれない。
 - (2) 各種委託料、賃借料について整理効率化をはかって削減に努力された。
 - (3) 過疎バス対策を検討されていますが、小学校の統合を考慮し、町営バスの運用、路線化を含め効率化に努力された。
 - (4) 財政シミュレーションと現状を認識し、今後の財政健全化と活性化を的確に把握するよう努められた。
 - (5) 企業誘致に対して専門的に取り組んで頂きたい。
 - (6) 関西交流会等事業の見直しを検討された。
 - (7) まちづくり推進のあり方を見直し、より良いまちづくりに活かされたい。

- 町民課**
- (1) 納税の完納に努められた。
- 福祉保健課**
- (1) 介護老人保健施設「あやめ」の開所が6月に控え、郡内はもとより広く「利用したい」との声が出るよう、職員の資質向上やPRに努力された。
 - (2) 社会福祉協議会の利

- 用と今後の方向性をしっかりと検討し町民の福祉と健康づくりに支障がないよう要望する。
- (3) 当町は生活習慣病、特に脳卒中が多く、糖尿病、高血圧の予防指導が積極的に行われているが、今後とも予防と健康づくりに努められた。
- (4) 少子化に伴い延長保育の充実を図ると共に、

- 子育て支援センターの充実を進められた。
- 建設課**
- (1) 廃棄物の収集運搬が新年度から入札によって行われるが、経費節減の追及のみでなく、町の計画が確実に実施され、町民に支障のないよう留意されたい。
 - (2) 17年尾は、除雪路線、除雪基準の見直しで除雪費の削減を図られてきたが、今後については更に検討を行い、住民の交通確保と経費節減に努められた。
 - (3) 高規格道路整備について、江府町にとっても十分活用でき利便性のあるよう関係町村、県に働きかけされたい。

- められるよう指導されたい。
 - (3) 町行造林の面積、樹齢等町有財産の調査をして現状把握に努められた。
- 教育委員会**
- (1) 江府町小学校統合検討委員会の答申をふまえて、着実に魅力ある小学校統合に向けて努力された。
 - (2) 図書システムの導入により管理運営の効率化が図られますが、魅力ある図書館づくりに努められた。
 - (3) 運動公園の管理者の減少に伴い、管理運営、安全面に十分留意されたい。



介護老人保健施設あやめ（武庫地内）

- 農林課**
- (1) 農業開発公社の職員減に伴い、職員派遣で業務に当たられるが事業の発展と公社の役割を十分果たされるよう努められたい。
 - (2) 直接支払制度事業の集落営農をスムーズに進

特別会計

健康づくりに 総力を上げて

国民健康保険特別 会計（事業勘定）

地域差指数「基準給付費（全国平均の一人あたりの医療費を1）」との比較が、1・14を超える市町村は国の指定があり、安定化計画を作成して医療費の適正化を図ることとなっている。

江府町の場合

平成14年度医療費による地域差指数1・17

（平成16年度初指定）

平成15年度1・24

（平成17年度指定）

平成16年度1・19

（平成18年度指定）

2か年続けて指定され地域差指数が1・17を超えた場合、翌年度に超えた額を国庫負担金から減額される。本町は保健、医療、福祉の連携が基本方

針であり、高い医療費の原因追究と医療費の抑制に努力されたい。

国民健康保険特別 会計（施設勘定）

診療所に併設して歯科口腔外科が平成14年から開設され、武地医師、國竹歯科医師のもと順調に推移しています。江尾診療所診療件数は1日平均65・4人、歯科口腔外科は33・8人です。約1億6千6百万円の診療報酬を予算化しており、受診者の利便性を考慮して駐車場の整備も計画されているが、今後とも町民の期待に応える立派な診療所となるよう努力されたい。

介護サービスと 経営の充実を

介護老人保健施設 特別会計

住民より要望のあった施設が、いよいよ6月より開設します。10億円を投資した最大の事業であり、介護サービスや経営内容ともに立派な施設となるよう誠心誠意努力を払って頂きたい。

農業集落排水事業 特別会計

米沢地区の未整備地区について、地区住民の要望を受け止め財政の許す限り早急に整備されたい。

笠原市民農園 特別会計

笠原市民農園の運営は、毎年一般会計から多額の繰り入れをしているが、サントリーの企業誘致に伴う工事等諸事情により2年間休止となった。その間に今後の農園運営等初期の目的達成のため熟慮されたい。

簡易水道事業 特別会計

笠原地区給水施設の安定供給のため、施設整備をされることについて、笠原に進出されるサントリーと協議して、町財政の負担軽減となるような方向で実施されたい。



福祉保健課窓口

一般質問



早春の大山

質問 観光目的とされる温泉や資源といえる物が乏しい本町では訪れる人

問	観光の振興策は
答	提言の発想転換で



質問 役場窓口は、規定によれば勤務時間は毎日日曜日、休日を除き午前8時30分より午後5時15分までとなっております。最近では共働き家庭が増え、平日の時間内に役場に行きたくても行けないで困っているとの住民の声を耳にします。ある町では電話予約すれば夜間、休日に宿直窓口で住民票の写し、印鑑証明書、納税証明書等の書類を受け取れるサービスをしたとのこと、地方自治体は、地域住民の基本的人権を擁護し住民の安心・安全で福祉の向上を図り、地域特性にふさわし

問	窓口の時間外開設は
答	新年度より実施する



役場窓口の時間外開設について
職員的能力活用について
日野尾 優

個性ある文化的な町づくりを実現することです。何日とか、曜日を決めて役場窓口の時間外開設して住民サービスをしたかどうか、町長の所信を伺う。

町長答弁
利用しやすい窓口の設置は行政推進のひとつの柱として、職員が汗をかくことにより、住民サービスがより推進できることは大切なことと考えています。

昨年4月には、窓口サービス開設として、総合健康福祉センターと防災情報センターで住民票など窓口証明の発行を開始し、2月末で369件のご利用を頂きました。家庭の状況によっては、役場の開いている時間に窓



口に行かれないということもあるかと考えます。ご提案いただきました窓口の時間外対応を前向きに検討し、新年度において一層住民の立場に立つたサービスを進めてまいりたいと存じます。

観光の振興と今後の対策について
越峠 恵美子

も限られていると考えられる。二度、三度この町を訪れてもらうための町づくり、地域づくりの取り組みが望まれる。

過疎、高齢化が進んでいる小さな町では、観光の振興に取り組むもの、その成果が目に見えてこないのではと思われる。

物より心の豊かさが重視されるようになり、観光目的も多様化し、心の安らぎ、癒しの場が求められると聞く。江府町の生活文化、伝統文化、イベントなどに触れたり、体験してもらうことで持続的な交流を目指してはどうか。

町長答弁
見る観光から体験や、地域の文化と言う時代要請もあります。例えば御机地区にたくさんの写真、

絵画等の愛好家が来られています。地域のすぐれた資源や豊かな自然に対しては、多くの観光客が来られるので、重点的なサービス施設の整備は必要と思います。

今年度エバーランドを中心とした手作りの遊歩道事業を実施します。地域振興株式会社を中心に多くのボランティアで鍵掛峠下流から木谷溪谷を経てエバーランドに帰って来るというルートが計画されています。今の時代自然と親しみ、健康志向、文化志向という観光ニーズも大切にしたいと考えています。将来的には誘致企業に伴う交流人口の増大も期待しています。

問	職員的能力活用は
答	自己啓発の活性化等に取り組む

質問 地方自治体を取り巻く社会、経済環境は厳しさを増しつつあります。住みやすい地域、生活しやすい環境の整備、分権時代にふさわしい新しいまちづくりは、厳しい財政危機を乗り越えるための、徹底した行政改革を推進し行政コストを軽減する必要があります。行政職員は全体の奉仕者として、職務に精励することとはもとより、その職責遂行のための専門家であります。自治体の政策立案や施策の過程で自分の考え方、創意工夫をなんらかの形で反映させる義務があります。職員の提案制度は創造の時代を迎え、能力活用のため重要と存じますが町長に所信を伺う。

問	トンボハウスの復活は
答	地元と検討し仲介を

質問 深山口のトンボハウスの復活を望む声が多いが、存続の危機にある集落が、地域外の人々の応援により再び活性化できないものか考える。

小さくても明るい元気で輝きのある江府町をまことPRして地域の特長や、魅力を再度見直し観光に対する発想の転換をすべきではないか。

町長答弁
地域の厚い要望を受け整備したが残念ながら集落人口の減少や意欲の減退などにより現状となつています。町内外の人たちの活用を地元と検討し利用促進を図りたい。

町長答弁
国、地方を通じて財政が危機的な状況にあるなど、行財政を取り巻く環境はきわめて厳しく、財政の健全化と徹底した行政改革が求められています。このような状況の中、町民の信頼と負託に応えていくためには、職員一人一人が常に目的意識と高い意欲を持って自らの能力開発に努め、自己啓発に取り組みやすい職場の環境づくりや自己啓発が必要であります。基本的には、職員の持つ潜在能力を引き出し、何をなすべきか、職員からの提案制度、プロジェクトチーム制度等を継続いたしますと共に職員が仕事を通じて人間の成長と自己実現を図ることが出来るよう学習環境の醸成、自己啓発の活性化、多様な研修機会の提供などの取り組みをしたいと存じます。今こそ職員自らが変わって行かなければならないと考えます。

問	商工観光センターは
答	観光協会と事業展開を

質問 本町の玄関である駅に増築された商工観光センターは場所的に町外の人にはわかりにくいところにあるため、特産品を広く知ってもらうことができなくて残念です。センターの業務と今後、地元特産品のPRの対策を伺う。

町長答弁
業務は観光情報の発信、案内や物産のPR、販売を行っています。

地元特産品のPRは町のHPや商工会のHP、パンフレットなどで県内外にPRしているが一般観光客にPRは看板等不足しています。観光協会で懸命に努力していただいているが、今後は、町としても共同事業の展開をしたいと思えます。



魅力ある江府町を どう築くのか 役場に新しい風とやる気を 田中幹啓

問	これからの江府町はどの方向に向かって行くのか
答	財政基盤の確立をしながら厳しい峠を乗り越えてゆきたい

質問

江府町長の足あとを見つめれば町長としての哲学と目標があったように思う。旧米沢村の佐々木村長は大きな夢を語っていたと聞いた事がある。手島町長は江府中学校の実現、鏡ヶ成の休暇村誘致、井上町長は俣野発電所誘致、財政基盤の確立。甘酒茶屋、体育館、グラウンドの建設、福田町

長はほ場整備、下水道、医療機関の充実、そして奥大山の”水“の全国発信など、三代の町長とも熱い想いとまちづくりへの哲学があったように思う。現在、やめる。けずる。へらす。という改革が行われ町も夢を失いかけています。これから町民に何を示し、何を目標にし希望のあるまちづくりをどのようにして築いて行く考えか伺う。

町長答弁

元気で明るい輝きのあ
る江府町を大きな目標に
している。そのためには
私はやはり財政なくして
は、行政なしと言われる
ように財政基盤の確立を
しなければならぬと考
えています。現在の厳し
い財政の峠を住民のみな
さんと一緒に乗り越えて、
笑顔あふれる誇れる町を
つくりたい。地域の活性
化に大いに寄与するもの
として、企業誘致を着実
に進めてゆきたい。教育
問題では、小学校統合同
近づいています。子育て、
学習環境の対策も重きを
置きながらまちづくりを
行っています。

問	人事は大切ですか
答	意欲の創出を考える

質問

役場の人事に新しい風、能力主義の導入、希望とやる気の起きる人事が、現在、江府町においても必要と思える。町長の人事に対する考え方と見解を伺う。

町長答弁

職員の特性と能力を活かし意欲の創出を考えながら、適材適所の配置に努めます。平成18年度から人事評価も検討を始め、評価システムを持ちながら町民に生き生きと奉仕できる人事を行います。



南大山大橋

議員提出議案

江府町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条件

平成18年度の議員報酬を10パーセント削減することを全会一致で可決した。削減後の報酬月額は、

職名	報酬月額
議長	277,200円
副議長	206,100円
委員長	198,000円
議員	193,500円

平成18年4月1日から施行となります。

道路特定財源制度の堅持に関する意見書提出について

道路特定財源については、受益者負担の考えに基づき、使途拡大など他

の目的に転用することなく全額道路整備に充当し、地方の道路整備を強力に推進することを、強く要望する意見書を提出することを全会一致で可決した。

真の地方分権改革に関する意見書提出について

今後の地方分権改革の推進にあたっては、国の財政再建を優先することなく、現下の町村の財政事情を考慮し、町村の主張に耳を傾け、地方分権に相応しい改革を推進するとともに、自主的、自立的な施策が展開できることを図られたいと全会一致で可決した。

外国人の受入れに関する意見書提出について

わが国の産業分野の国

際化に伴い、外国人を雇用しようとする企業が増大しているが、悪質な日本人雇用主のもとに、劣悪な環境の下で就労している外国人の人権を保障し、不法就労の掃蕩を図ることを全会一致で可決した。

日本郵政公社の集配局廃止計画の中止を求める意見書提出について

小泉首相は郵政民営化について「万が一にも国民の利便に支障が生じないようにしていきたい」と述べてきました。この公約を守り、計画を中止するよう強く求める意見書を全会一致で可決した。

企業誘致調査特別委員会

第1回笠原水環境影響評価委員会開催

委員会構成は道上正規（鳥取大学名誉教授）委員長他5名

第3回 平成18年秋 地下構造の推定
第4回 平成19年春 地下水の現状把握・揚水試験中間報告

幹事・サントリー（M-3 I 場設計チーム）江府町・鳥取県（水環境室）事務局・鳥取県商工労働部産業開発課

第5回 平成19年夏 地下水流量モデル検証
第6回 平成19年冬 地下水モデルによる予測、影響評価

委員会スケジュール予定

第2回 平成18年5月中旬 現地視察・地下構造の推定

平成20年春以降は必要に応じて開催（地下水位、揚水量は継続測定）



トレーラーの走行調査

第4回

介護老人保健施設 庁舎建設調査特別委員会

開催日

平成18年3月20日

1. 介護老人保健施設
「あやめ」建設による介
護保険料への影響。

算出根拠

入所50%（町内）程度
で試算した結果

4350円
9・2%アップ

2. 介護老人保健施設あやめ職員採用と異動状況

(正職員)

職 種	老健あやめの採用人員	日野病院からあやめへの人事異動(予定)
看護師	0	7
理学療法士	0	1
作業療法士	0	0
管理栄養士	0	1
介護福祉士	8	0
介護支援専門員	1	0
支援相談員	1	0
一般事務	1	2
計	11人	11人

(嘱託職員)

職 種	老健あやめの採用人員	日野病院からあやめへの人事異動(予定)
介護職員	13人	—

合 計	24人	11人
-----	-----	-----

西部市町村の介護保険料見込(第1号被保険者)

市町村	第2期月額	第3期月額	伸び率
米子市	4,163	4,761	14.4%
日野町	4,500	4,500	00.0%
南部箕蚊屋連合	4,150	4,350	4.9%
江府町	3,983	4,350	9.2%
日南町	4,200	4,200	0.0%
大山町	3,300	3,917	18.7%
境港市	3,867	3,872	0.1%
平均(県下19市町村)	3,635	4,321	18.9%

3. 決算見込みについて
老健施設「あやめ」は
日野病院が指定管理者と
して契約をしているため
日野病院組合で決算概要
の説明があった。
平成18年度決算見込み
は中途のため1千万円の
赤字が予想される、しか
し次年度から健全運営に
努めます。

4. 「あやめ」開所にむ
けての取組みは。
通所リハビリサービス
は日野郡内にはないので、
パンフレット等を配布し
利用者の確保に努める。
又、期間が少ないの
でトレーニングして
しっかり体制を整え
る。



あやめ号

→機能訓練室



陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長の報告を受け3月定例議会本会議で審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	審議結果
「外国人の受入れに関する意見書」の提出を求める陳情書	採 択
「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情書	不 採 択
最低賃金制度の改正を求める陳情	不 採 択
パートタイム労働者の均等待遇実現を求める陳情書	不 採 択
住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情	趣旨採択
障害者が必要な福祉サービスを受けるための条件整備についての陳情書	趣旨採択
日本郵政公社の集配局廃止計画の中止を求める意見書提出について	採 択

江府町議会議員政治 倫理条例第5条関係

議員の配偶者、二親等以内又は同居の親族、議員が役員をしている企業並びに議員が実質的に経営に携わる企業からの報告

平成18年
2月6日付け

報告のあった企業

株式会社 かわばた

議員と企業との関係

代表取締役社長

契約の内容

介護老人保健施設あや

め外構工事

請負の方法

指名競争入札

契約金額

3034万5000円

企業の考察等

この工事を請負つても

株かわばたの業務の主要

な部分を占めているとは

いえない為。

その他

平成16年度株かわばた

完成工事高金5億749

5万2000円

平成18年
2月15日付け

報告のあった企業

有限会社 モリタ

議員と企業との関係

同居する代表取締役の

父

契約の内容

介護老人保健施設あや

め(食器)

請負の方法

指名競争入札

契約金額

235万2000円

企業の考察等

指名があり入札に参加

したが落札にならずその

結果、当社が最低価格で

あったため町から契約す

るよう要請あり。辞退の

申入れをしたが再度話し

合いの結果契約すること

とした。

平成18年
3月27日付け

報告のあった企業

株式会社 かわばた

議員と企業との関係

代表取締役社長

契約の内容

一級町道江尾貝田三ノ

沢線道路改良工事(橋梁

床版工)

請負の方法

指名競争入札

契約金額

918万7500円

企業の考察等

この工事を請負つても

株かわばたの業務の主要

な部分を占めているとは

いえない為。

その他

平成16年度株かわばた

完成工事高金5億749

5万2000円。

ひとこと



貝田 車 幸

“確かに そうかも”

我が家のこの春はとつても忙しく、長男の小学校卒業、三男の保育園卒園、小学、中学の入学等、次男のソフトテニスの応援と合わせて、ドタドタ、バタバタと本当に親って毎日が忙しく大変だなーと思います。先輩の親御さんに話せば、今の忙しさは序の口で、これからは体力的にも経済的にももっと大変になるとのこと。想像はつくが、考えたくないと思ってしまう。

私の両親も私を含め、三人の子を育ててくれたのですが、本当に大変だっただろうと今になってつくづく思います。「親の恩は子で返す」ということわざがあります、まさにその言葉どおり。現在恩返しのため最中と言ってみたところ「まだまだそこまでいかん！」と釘をさされてしまいました。(笑)「確かにそうかも！」現在も両親と同居している私は、未だに両親に育ててもらっているといった感じで一生子育てをさせてあげられそうです。ボケるひまはないかも…。

今私は三人の息子の子育てですが子育てとは、同時に親育てとか、私も「一個のアメと、十個のムチ」といった感じで本当に厳しく育ててもらっています。(^^)子供の成長に一喜一憂しながら忙しくて、疲れても、身近な先輩方の力を借りて、明日から又私自身もしっかり頑張っていくこうと思います。親として…。



吉原 清水 要範

「印刷物の 配布に工夫を」

郵便受けから新聞を持つと、ずしりと腕にこたえる程の折込み広告、見ることもなく塵箱に直行。今や情報化時代、行政や各団体からの刊行物は驚くばかりの量で、一つ一つ全部に目を通すのは不可能である。行政からの印刷物の中には関係のない物もある。カレンダーも行政から複数配布される。施策の啓発の意味もあるが、他からも数多く届き、掲げる場所も

ない儘放置されるか塵箱行きになりかねない。防災無線での連絡もあり、せめて行政からの印刷物の配布は必要な所へ必要な物を届けられるよう工夫されることを望む。これが行政経費の節減と塵の減量化に少しでも役立つではないか。

又町には〇〇推進委員会とか△△協議会など数多くの外郭団体がある。その中には年に一回も会議の開かれぬもの。年度末に慌てて開いたことにして帳尻を合わせるといったものはないか。

兎に角役所には予算は年度内に使い切るという慣習？があり、これが浪費に繋がりがかねない。

日野町では財政難により赤字予算を組み、少しでも赤字が減るよう努力されるといふ。窮余の策とはいえず注目する価値はあるのではないか。

あとがき

平成17年度第4節は豪雪の中、春が来るのをじっと待っていました。春は忘れずにやってきました。新しい芽がよきよきと出てきました。

水工場奥大山ファクトリーが稼働し始めました。今春からもう一つのサントリー進出に向けて大地が動きはじめます。健康と福祉のまちづくりを目指した待望の老健施設「あやめ」も6月の開所を今遅しと待っています。とつても厳しい予算ですが、小さくてもキラリと光るものが見えてきそうな気がします。

春の来ない冬はありません、しっかりと耐えて花を咲かせましょう。

川上 富夫

議会広報調査特別委員会

- 委員長 池田成弘
- 委員長 川上富夫
- 委員 田中幹啓
- 委員 日野尾優
- 委員 長岡邦一